

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 北九州市立すがお小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒803-0264  
福岡県北九州市小倉南区山本393-6

E-mail : sugao-e@kita9.ed.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 41名 女子 41名 合計 82名  
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### 【学校の取組】

本校は「志を育てる未来志向型ふるさと教育」による環境を視点とした持続発展学習（ESD）を、以下の2つを柱にして取り組み、推進することができた。

#### （1）未来志向型ふるさと活動（環境を視点に、郷土・福祉・平和・国際理解とのかかわり、つながり）

①全校いかだ遊び・カヌー体験	学校の前を流れる紫川で手づくりのいかだでレースをしたり、カヌー体験をしたりして、ふるさとの川とふれあい・かかわりながら慣れ親しんだ。
②全校紫川清掃	毎年、全校児童による紫川清掃を行う。美化活動を通してふるさとの川への親しみや愛着を深めた。
③全校すがおホタル見の会	自然豊かな環境を生かし、本校敷地内を流れる用水路を活用して「蛍ビオトープ」造りに取り組んだ。5年生が、「ゲンジ蛍」の幼虫を放流した。6月には「全国蛍の会」会長をGTとして招聘し、地域の方や保護者と一緒に「すがお蛍見の会」を開催した。
④2年生 生活科 「もっと発見！すがおのじまん」	地域を流れる川や市の指定文化財である眼鏡橋など、すがおのまちの様々な場所を探検することで地域の「ひと・もの・こと」とのかかわり・つながりの大切さを発見した。また、地域への親しみや愛着を深め、地域を大切にしようとする心情を育てた。
⑤1, 2年生 生活科 「すがお生き物学習」	「NPO法人アサザ基金」の飯島先生をGTとして招聘し、環境学習を行った。1, 2年生とは、生き物と話をする方法やふるさとすがおの生き物の生態と地域環境のつながり・かかわりについて学習することができた。また、5年生とは、学校近くの竹林の調査活動を行い、森林と川の環境のつながりについて考えた。調べたり、考えたりしたことを壁新聞にまとめ、飯島先生や交流している小学校（ユネスコスクール）や地域に広く発信した。
⑥3年生 総合的な学習の時間 「すがおキッズ新聞社」	菅生の滝や鱒淵ダムを調べ、その場所にかかわりの深い地域の方の話を聞くことで、地域の昔の様子や地域の特色を知り、ふるさとのよさを再確認する。また、新聞にまとめ全校に発行した。
⑦5年生 総合的な学習の時間 「未来につなごう！紫川」	紫川の上流・中流・下流の水質調査を行った。また、ほたるの学習や紫川の水中生物調査を通して、問題解決学習を展開した。更に地域の方と校内の竹炭窯で竹炭をつくり浄化活動を行いながら、浄化効果も検証した。学習のまとめとして新聞づくりに取り組み、地域や他校に発信していき、ふるさとの環境保全を広くよびかけるとともに継続して実践していくことができた。 また、同じ川の学習を行っている小学校（ユネスコスクール）と交流し、一緒に川の調査活動をしたり、互いの実践を伝え合ったりする活動を通してふるさとの川への親しみや愛着を深めた。
⑧5年生 総合的な学習の時間 「森林学習～森と川のつながり～」	北九州市森林組合の赤松先生による森林学習を行った。学校裏の小舟山に登り、森林の調査を行った。広樹林への侵入竹が深刻になっていることから、川と森林のつながりについて考え、川と森林の両方の環境保全のために竹炭づくりに取り組んだ。
⑨6年生 総合的な学習の時間 「すがお平和宣言」	平和集会では、地域の方に戦時中の様子や平和への願い、平和の大切さを話していただいた。6年生は、修学旅行で学んだ平和学習での学びを報告し、一人一人が、「すがお平和都市宣言」を発表し、ホームページ等で発信した。

(2) 特産創生型ふるさと活動(環境にやさしい無農薬農業〈勤労及び食育〉とのかかわり・つながり)

① 1, 2年生 生活科 「すがお小麦ワールド」	ふるさと活動農園で小麦を育て収穫・脱穀し、石臼で粉に挽いた後、地域の名人とピザ・うどん・パン・団子等を作り、食べた。2年生から1年生へ小麦の引継ぎ式を行い、1年生が種を蒔いて、次年度の収穫に向けて栽培を始めた。
② 3年生 総合的な学習の時間 「名物にしよう! すがおの大豆」	地域の枝豆づくり名人の枝豆農家を見学し、枝豆の栽培の仕方を学んだ。実際にふるさと活動農園で大豆(枝豆が変身)を育て、収穫した大豆で地域の名人とみそや豆腐、きなこ等を作った。また、大豆について学習したことを壁新聞にまとめ、保護者や地域に発信した。
③ 4年生 総合的な学習の時間 「つくろう! 高菜漬け」	ふるさと活動農園で高菜を育て収穫し、地域の名人と高菜漬けを作った。できあがった高菜漬けを全校児童に振る舞った。
④ 5年生 総合的な学習の時間 「挑戦! 竹炭米」	紫川の浄化活動でつくった竹炭を稲作にも活用した。学校の田に小さく砕いた竹炭を蒔き、土壌改良に取り組んだ。また、地域の名人と田植えや稲刈り、脱穀等を行い、美味しい竹炭米を作ることができた。
⑤ 6年生 総合的な学習の時間 「たくあんコンクールから届けよう! 岩手県大沢小へ」	ふるさと活動農園で育てた400本の大根を栽培、収穫し、地域の名人とたくあんをつくった。毎年、地域で開催される「たくあんコンクール」に出品し、収益を義援金として岩手県大沢小学校へ送り、交流を続けている。「たくあんコンクール」では、「特別賞」を受賞した。
⑥ 全校行事 「ふるさとふれあい収穫祭」	5年生の竹炭米、全校児童が育て収穫した冬野菜、3年生の味噌、1, 2年生の小麦(団子)を使って団子汁を作り、米を羽釜で炊いた。保護者や地域の保育園児、栽培や収穫でお世話になった地域の方をお招きして収穫の感謝や喜びをともに分かち合うことができた。また、地産地消のよさや生命の大切さを学んだ。

【成果等】

児童は、「Think Globally, Act Locally.」の基、環境教育を推進し、地球規模で考えながら、多面的にふるさとのことを学び、行動することで、よりよいふるさとへと持続発展させていこうとする意識が高まっている。

本実践は、本校環境教育の一つの柱である。この取組を広め、さらなる取組へと深化させたいと考え、2年前より公益法人コカ・コーラ教育・環境財団が主催するコカ・コーラ環境教育賞「活動表彰部門」に応募してきた。その結果、昨年度は「優秀賞」を受賞させていただき、今年度は栄えある「最優秀賞」を受賞させていただいた。また、北海道で開催された「コカ・コーラ環境フォーラム2015」では、本校6年児童が、自信をもって堂々と実践発表を行うことができた。

今後も地域の豊かな自然と「ひと・もの・こと」とのかかわりやつながりを大切にしながら実践を継続し、ふるさとへの親しみや愛着を深めるとともに地域と共に「ふるさとすがお」を未来に向けて守っていこうとする実践力あふれる児童の育成を目指す。



コカ・コーラ環境フォーラム  
2015 in 北海道での発表

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）